

2020年12月期 第2四半期 決算説明会

2020年8月6日
JUKI株式会社
代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2020年12月期（2020年度）上期業績の概要

- 1. 業績推移 3
- 2. 経常利益増減要因 4
- 3. コスト構造改革による取り組み 5
- 4. 主要財務項目推移 6
- 5. セグメント別業績推移 7

第2部 2020年度下期の重点施策

- 1. 環境認識・市場動向 12
- 2. 2020年度下期 重点施策 14
- 3. SDGsの取り組み 28

第1部
2020年12月期（2020年度）
上期業績の概要

売上高は、特にお客様である各国各地域の縫製工場で事業を停止し、操業度が低い企業があるなど引き続き設備投資需要は低水準で推移していることから、売上が減少し、前年比△41.2%の減収。

利益面は、期初に掲げた構造改革を更に深掘りし、本社や国内外のグループ工場の一斉操業停止を含む大幅な生産調整、管理（間接）部門の一時帰休や新たな勤務フォーメーションの導入等による収益改善を図りましたが、売上減少の影響などにより、営業利益、経常利益共に前年比で大幅な減益。

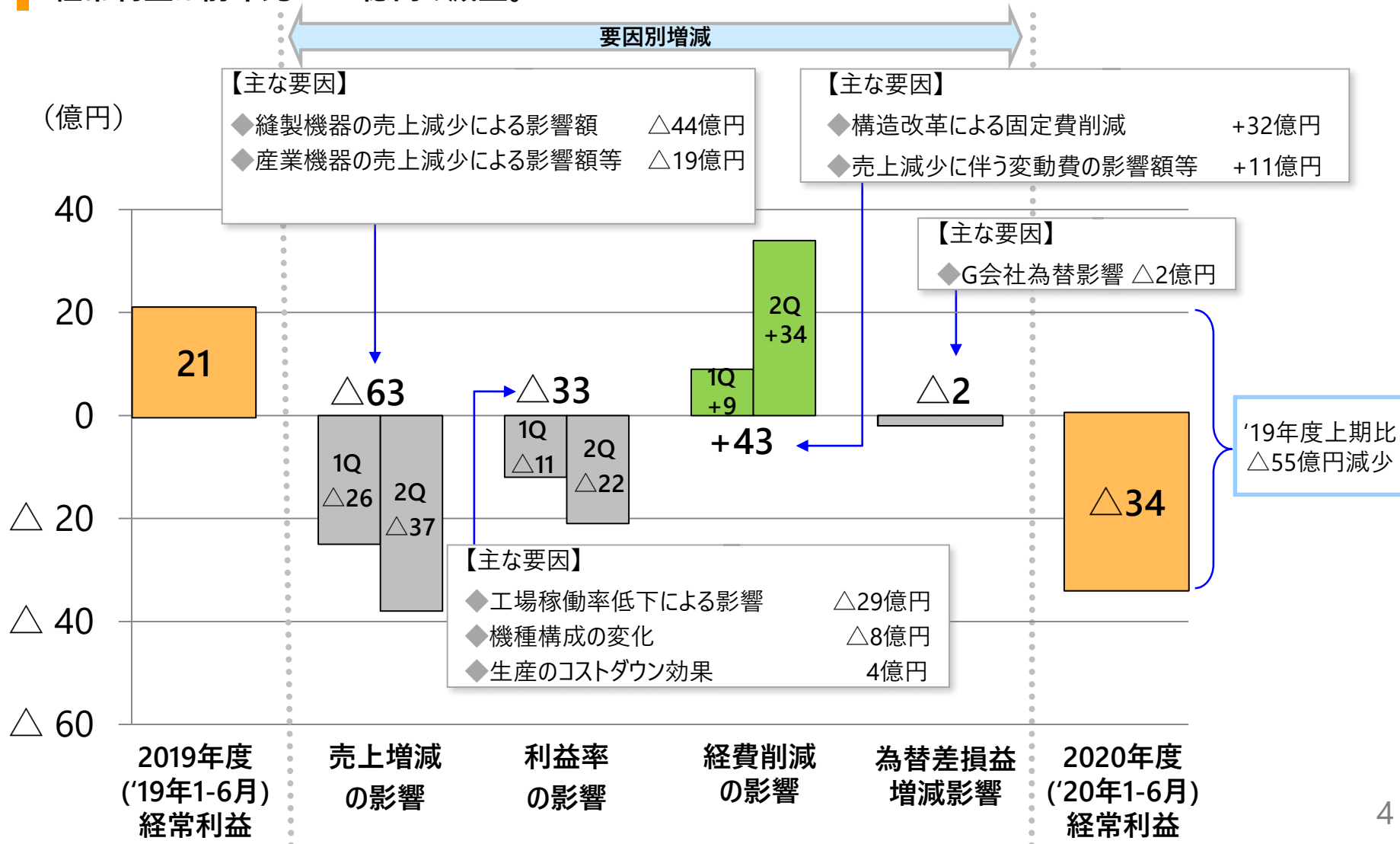
(百万円)

		19年度			20年度			前年同期比 増減額 < B-A > (増減率)
		上期			上期			
		1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
		19年1-3月	19年4-6月	19年1-6月	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	
売上高		25,753	26,132	51,885	16,860	13,636	30,496	△ 21,389 (△41.2%)
営業利益		1,349 [5.2%]	1,246 [4.8%]	2,595 [5.0%]	△ 1,472 [△8.7%]	△ 1,996 [△14.6%]	△ 3,468 [△11.4%]	△ 6,063 -
経常利益		1,103 [4.3%]	1,004 [3.8%]	2,107 [4.1%]	△ 1,732 [△10.3%]	△ 1,710 [△12.5%]	△ 3,442 [△11.3%]	△ 5,549 -
当期純利益		727 [2.8%]	709 [2.7%]	1,436 [2.8%]	△ 1,836 [△10.9%]	△ 2,067 [△15.2%]	△ 3,902 [△12.8%]	△ 5,339 -
為替 レート	ドル	110円	110円	110円	109円	108円	108円	△2円
	ユーロ	126円	123円	124円	121円	119円	120円	△4円

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

コスト構造改革などによる経費改善を進めたものの、売上減少の影響、工場稼働率の低下などにより、経常利益は前年比△55億円の減益。



当初予定していた削減目標より更に踏み込んだ経費削減を実施し、前年比で△32億円を削減。

人事コスト改革
△9億円

- ・人事処遇制度の見直し
- ・本社の一時帰休
- ・新たな勤務フォーマーションの導入

生産コスト改革
△12億円

- ・国内外のグループ工場の一斉操業停止を含む大幅な生産調整
- ・工場スマート化の効果刈り取り

販売コスト改革
△11億円

- ・グループ会社の経費削減
(処遇の見直し、一時帰休等)

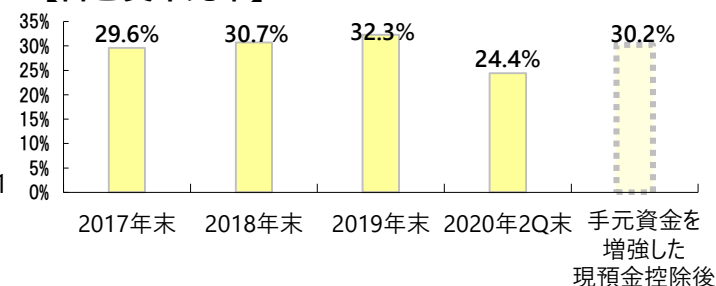
コスト構造改革
△32億円

総資産※1は、売掛金が減少する一方、現預金が増加したことなどにより前年比156億円増。

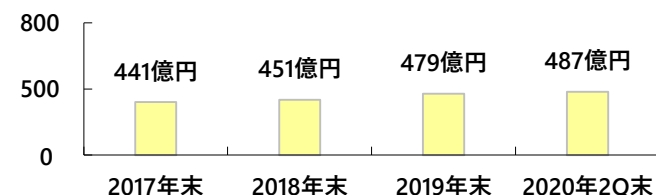
有利子負債※2は、新型コロナウイルス対策として手元資金を資金調達により252億円増強したことから、現預金控除ベースでは487億円。

	(百万円)			
	19/12月期 (19年12月末) <A>	20/12期 (20年6月末) 	増減額 <B-A>	
総資産	114,715	130,282	15,566 ※1	
純資産 [為替換算調整勘定]	37,752 [△ 3,437]	32,394 [△ 4,074]	△ 5,357 [△ 636]	
純資産比率	32.9%	24.9%	△ 8.0%	
自己資本比率	32.3%	24.4%	△ 7.9%	
売上債権 [売上債権回転期間]	30,461 [3.7ヶ月]	21,207 [4.2ヶ月]	△ 9,253 [0.5ヶ月]	
在庫 [在庫回転期間]	41,461 [5.0ヶ月]	41,127 [8.1ヶ月]	△ 333 [3.1ヶ月]	
仕入債務 [仕入債務回転期間]	9,998 [1.2ヶ月]	7,222 [1.4ヶ月]	△ 2,775 [0.2ヶ月]	
有利子負債	53,878	79,883	26,005	
現預金	5,987	31,203	25,215	
為替レート (期末)	ドル	110円	108円	△ 2円

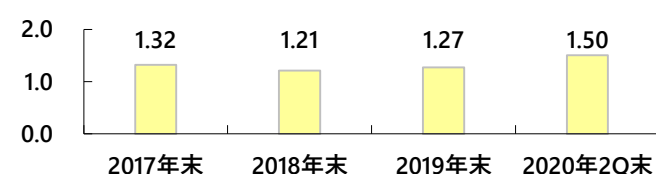
【自己資本比率】



【有利子負債（現預金控除ベース）】



【Net D/Eレシオ】(有利子負債 - 現預金)/純資産



縫製機器&システムは、家庭用ミシンの売上が新型コロナウイルスの感染拡大に伴う巣ごもり需要拡大により日本、欧米の各市場で増加したものの、工業用ミシンの売上はアジアを中心に各市場で大幅に減少し、前年比△45.9%の減収。

産業機器&システムは、産業装置では中国等を中心に5G関連等の設備投資需要の回復も見られ、第2四半期の売上は第1四半期比増加しましたが、前年同期比では各市場で売上が減少し、また受託加工等のグループ事業でも車載関連を中心に売上が伸び悩み、前年比△32.4%の減収。

(百万円)

	19年度			20年度			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
	19年1-3月	19年4-6月	19年1-6月	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	
縫製機器& システム	17,083	17,026	34,109	10,662	7,780	18,442	△ 15,667 (△45.9%)
産業機器& システム	8,607	9,047	17,654	6,140	5,800	11,940	△ 5,714 (△32.4%)
その他	62	59	121	57	56	113	△ 8 (△6.6%)
合計	25,753	26,132	51,885	16,860	13,636	30,496	△ 21,389 (△41.2%)
グループ事業	2,684	2,941	5,625	2,520	1,942	4,462	△ 1,163 (△20.7%)

縫製機器&システムは、構造改革によるコスト削減に努めましたが、売上減少や工場の稼働率低下(=前年同期比△54.4%)の影響などにより、前年比で減益。

産業機器&システムは、構造改革によるコスト削減に努め、第2四半期には赤字幅を縮小しましたが、売上減少や工場の稼働率低下(=前年同期比△33.2%)の影響などにより、前年比で減益。

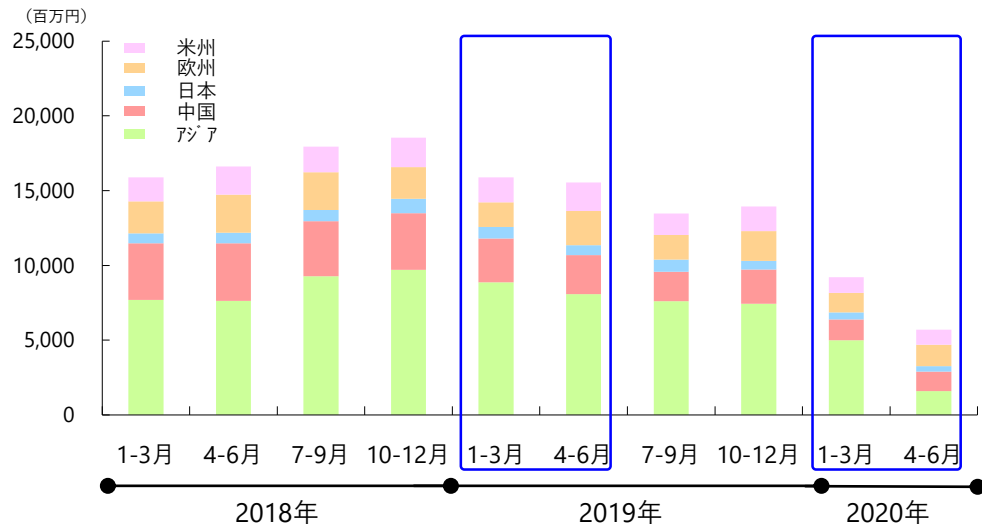
(百万円)

	19年度			20年度			前年同期比 増減額 < B-A > (増減率)
	上期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	1Q	2Q	上期	
	19年1-3月	19年4-6月	19年1-6月	20年1-3月	20年4-6月	20年1-6月	
縫製機器& システム	795 [4.7%]	1,016 [6.0%]	1,811 [5.3%]	△ 922 [△8.6%]	△ 879 [△11.3%]	△ 1,801 [△9.8%]	△ 3,612 -
産業機器& システム	679 [7.9%]	498 [5.5%]	1,177 [6.7%]	△ 384 [△6.3%]	△ 231 [△4.0%]	△ 615 [△5.2%]	△ 1,792 -
その他	13 [21.0%]	27 [45.8%]	40 [33.1%]	19 [33.3%]	22 [39.3%]	41 [36.3%]	1 (2.5%)
調整額	△ 384	△ 538	△ 922	△ 445	△ 621	△ 1,066	△ 144
合計	1,103 [4.3%]	1,004 [3.8%]	2,107 [4.1%]	△ 1,732 [△10.3%]	△ 1,710 [△12.5%]	△ 3,442 [△11.3%]	△ 5,549 -

* []は売上高利益率

- 工業用ミシンは、アジアを中心とした各市場で売上が落ち込み、前年同期比△53%減少。
- 家庭用ミシンは、前年比25%増加。

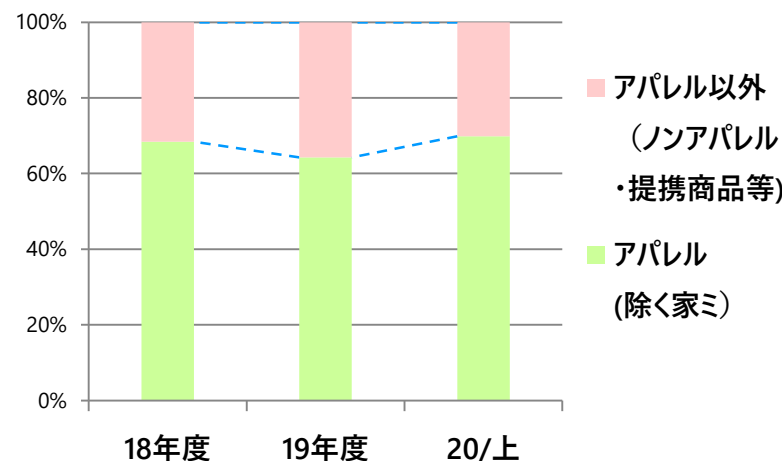
1. 【工業用ミシンの地域別売上高推移】 (月次集計ベース)



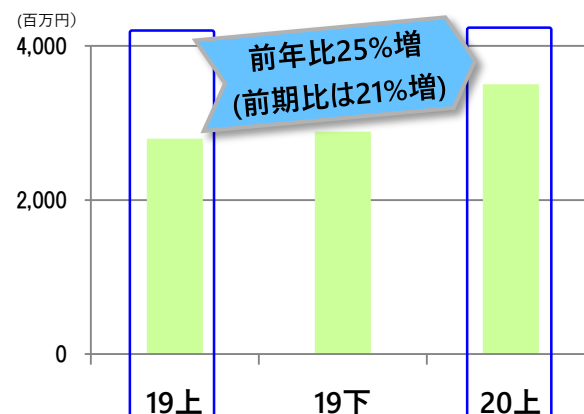
【売上高：前年同期比較】

	2019年 (1-6月)	2020年 (1-6月)	増減額	(増減率)
中国	55	27	△ 28	△ 51%
アジア	169	66	△ 104	△ 61%
中国+アジア	225	93	△ 132	△ 59%
日本	14	8	△ 6	△ 42%
欧州	39	28	△ 12	△ 30%
米州	36	20	△ 15	△ 43%
合計	314	149	△ 165	△ 53%

2. 【アパレル・アパレル以外の売上高比率推移】 (除く家庭用ミシン)

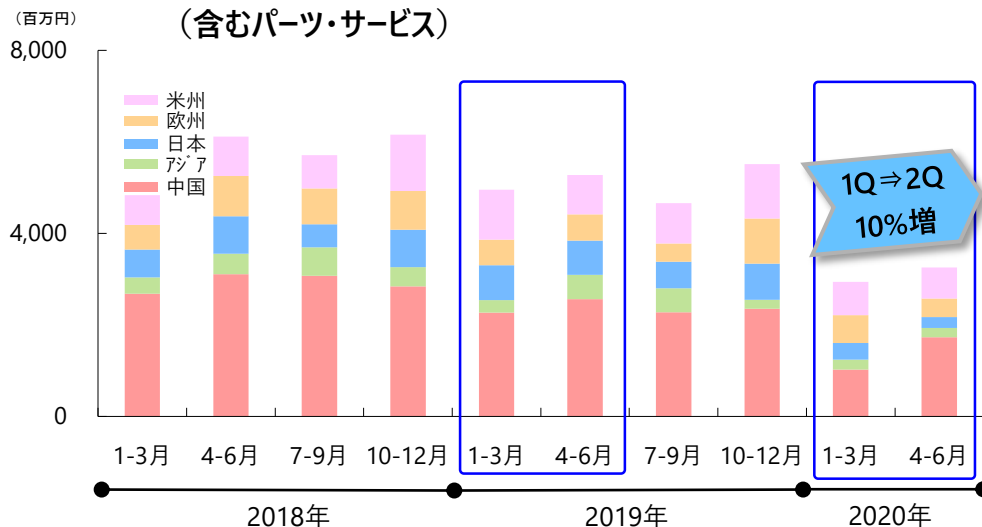


3. 【家庭用ミシンの売上推移】

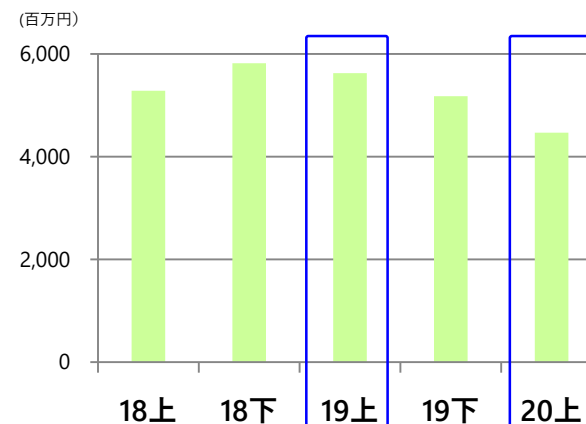


産業装置は、第2四半期の売上は第1四半期比10%増加したものの、前年同期比では△40%の減少。
(パーツ含む)

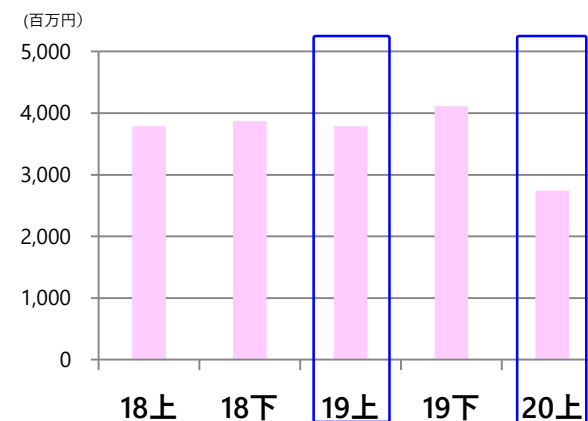
【産業装置の地域別売上高推移】(月次集計ベース)



2.【グループ事業の売上推移】



3.【パーツ事業の売上推移】



【売上高：前年同期比較】

	2019年 (1-6月)	2020年 (1-6月)	増減額	(増減率)
中国	48	28	△ 21	△ 43%
アジア	8	4	△ 4	△ 48%
中国+アジア	56	32	△ 25	△ 44%
日本	15	6	△ 9	△ 60%
欧州	11	10	△ 1	△ 10%
米州	20	14	△ 6	△ 28%
合計	102	62	△ 40	△ 40%

(億円)

第2部

2020年度下期の重点施策

※従来掲載していた中期計画に関しては、新型コロナウイルスの影響により、当初計画した目標値達成に向けた前提条件が変更になったことから、現在見直しをしております。年内中に精査した上で、改めて開示させていただきます。

新型コロナウイルスの治療薬や予防ワクチンが実用化され、感染を完全克服するまでは、**「命を守ること」と「経済を復興すること」**の両立が大きな試練。

事業環境

経済の復興:

- ・ウイルスと共存しながらの経済の立て直しが進む。中国、欧米、日本、東南アジアは回復に向かう一方で、南アジア、アフリカ等の地域は停滞が続く見込み。
- ・安定供給維持に向けた企業のサプライチェーン見直し・生産地移管が進む
- ・様々な製品・サービスに、AI・5G・IoT等の先端技術活用が拡大

社会的要請

新しい生活様式への対応:

- ・働き方改革の推進(仕事のデジタル化、リモートワーク)、ソーシャルディスタンスの推進

SDGs(持続可能な社会の実現)への取り組み:

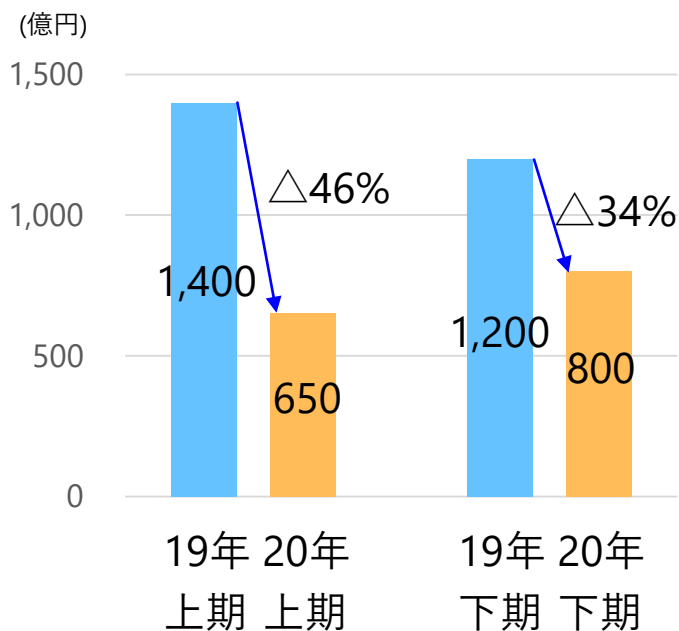
- ・省資源化・廃棄物削減の取り組みへの対応
- ・コンプライアンス遵守、コーポレートガバナンス強化

今後、Withコロナ、Afterコロナにおけるニューノーマル(新しい生活様式)が定着し、新しい産業が生まれる。その中に新たなビジネスチャンスあり!!

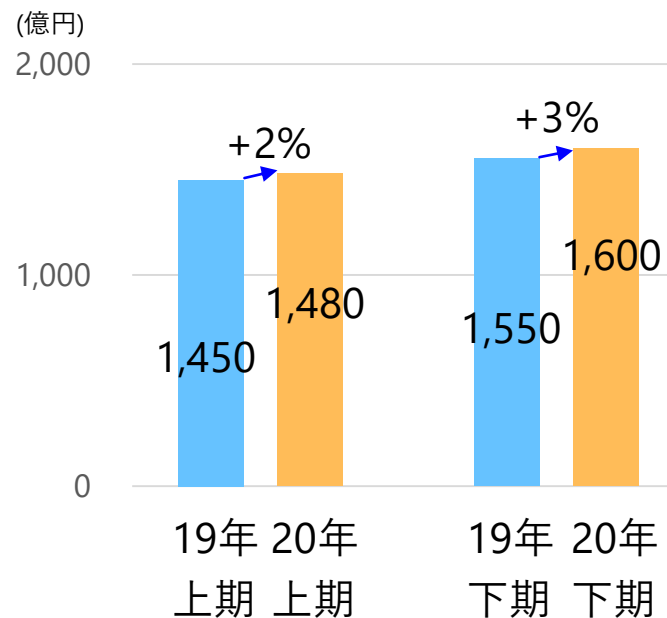
工業用ミシンは、アパレル需要の回復が遅く、前年比30~40%程度減の市場縮小。
産業装置は、中国での5G関連の需要等により、前年比5%程度増の市場拡大。

「20年下期 市場予想(主力事業)」

工業用ミシン市場



産業装置(実装機)市場



Withコロナの環境下でJUKIが取り組むべき4つの重点方針

下期重点方針

- ①健全な事業所を堅持するための、
JUKIニュープリンシプル(行動指針)の徹底と
新しい勤務体制への転換
- ②コスト構造改革による
経費の岩盤水準の更なる引き下げ
- ③既存事業の強化及び新規事業創出・事業領域拡大
による付加価値の増強
- ④Afterコロナ社会を展望した、新しい経営体制の構築※
※専門部署の組織化による業務オペレーションの見直し、
RPA導入などによる高効率な業務運営体制の構築

下期収益
改善ための
最重要課題

下期重点施策～コスト構造改革による経費削減～

上期のコスト水準を更に引き下げるため、追加施策を実施し、前年比で約△27億円の経費削減を行う。

人事コスト改革
△4億円

- ・本社の一時帰休 (継続)
- ・新たな勤務フォーマーシヨンの制度化(追加)
- ・本社管理間接機能のスリム化(追加)

生産コスト改革
△9億円

- ・国内外のグループ工場の一斉操業停止を含む生産調整(継続)
- ・工場スマート化の効果刈り取り(継続)
- ・工場製造規模の適正化(追加)

販売コスト改革
△14億円

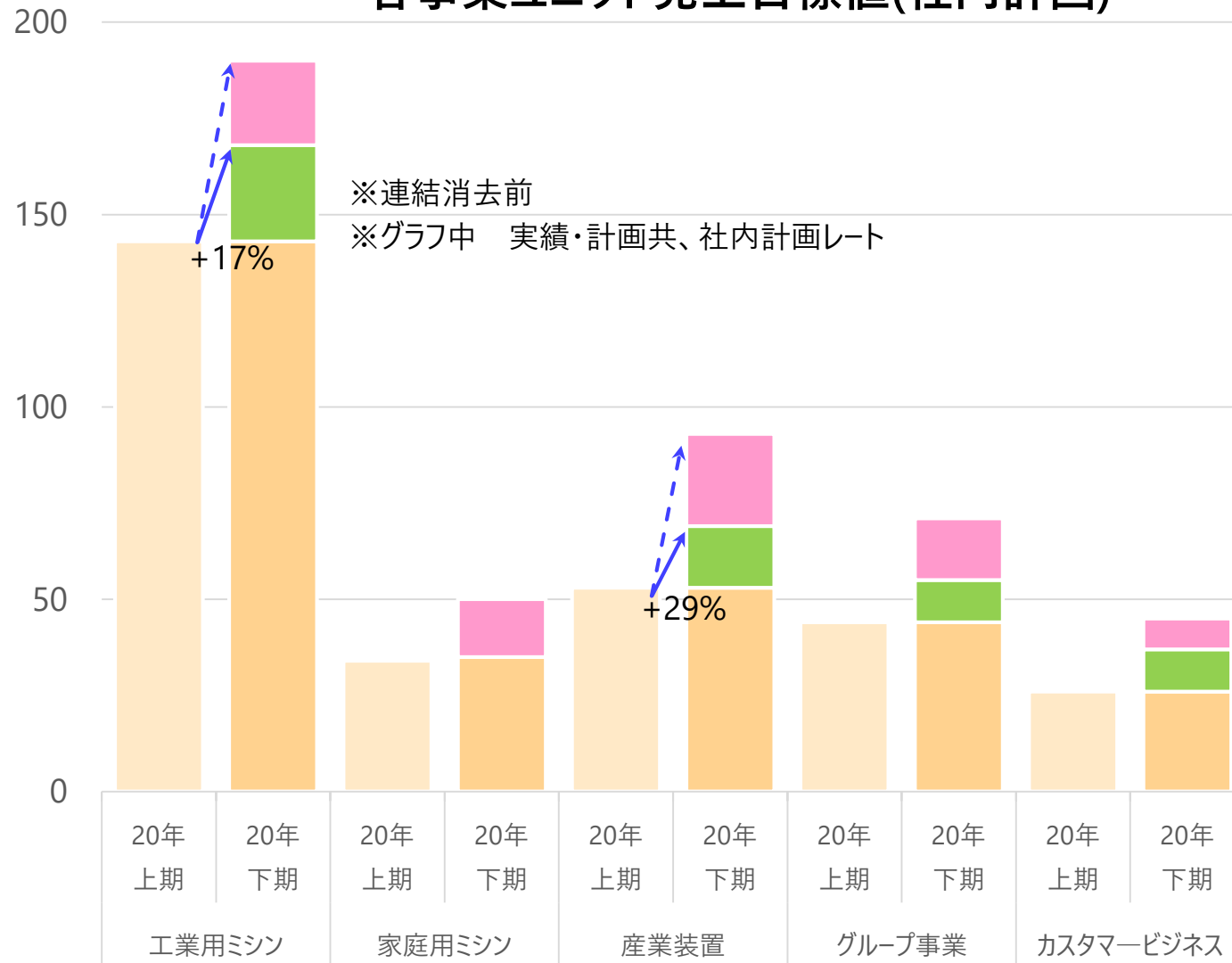
- ・グループ会社の経費削減(継続)
- ・販社間接機能のスリム化(追加)

コスト構造改革
△27億円

既存事業の強化に加え、新規事業創出・事業領域拡大による付加価値の増強。

(億円)

各事業ユニット売上目標値(社内計画)



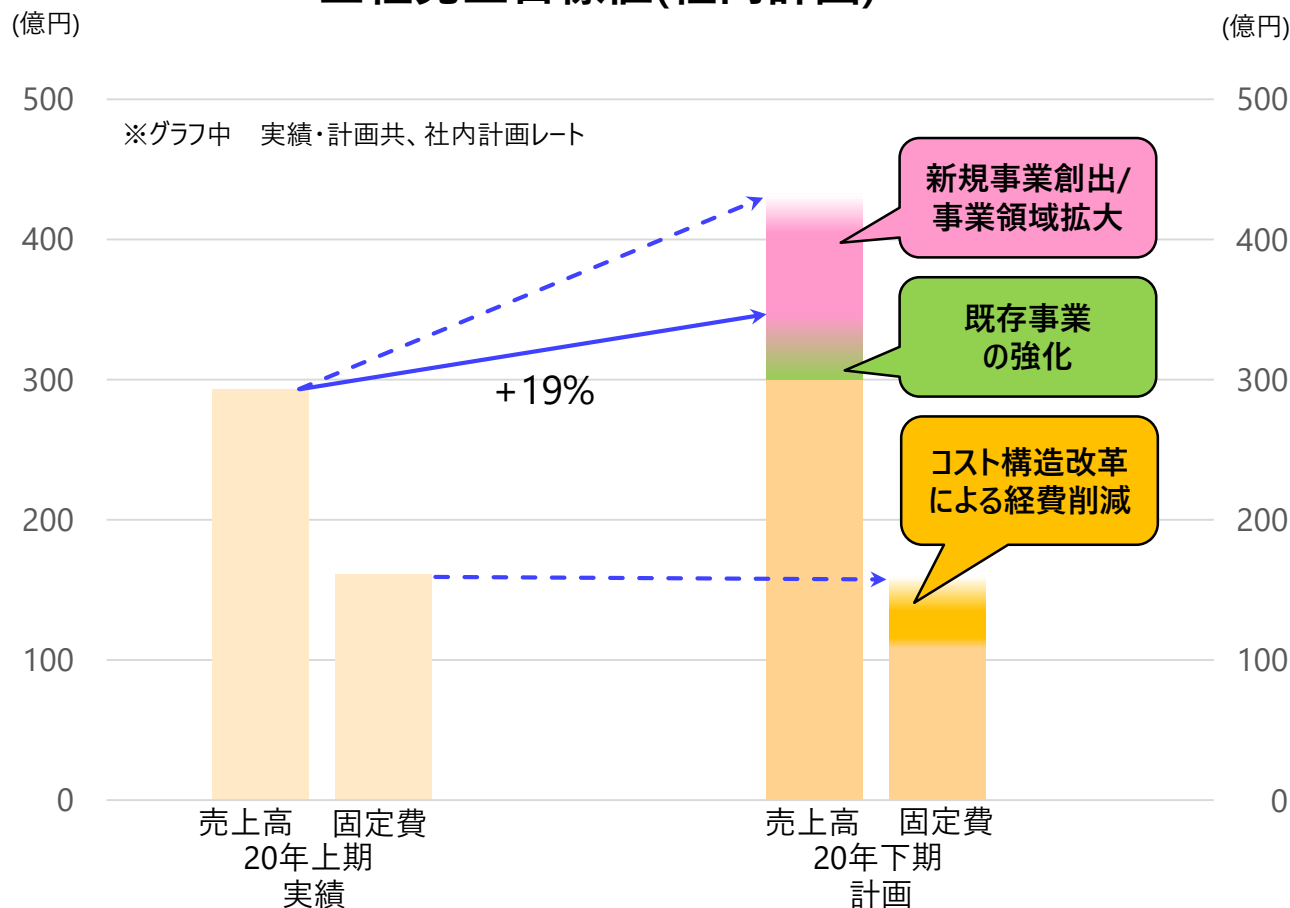
既存事業の
強化
55億円



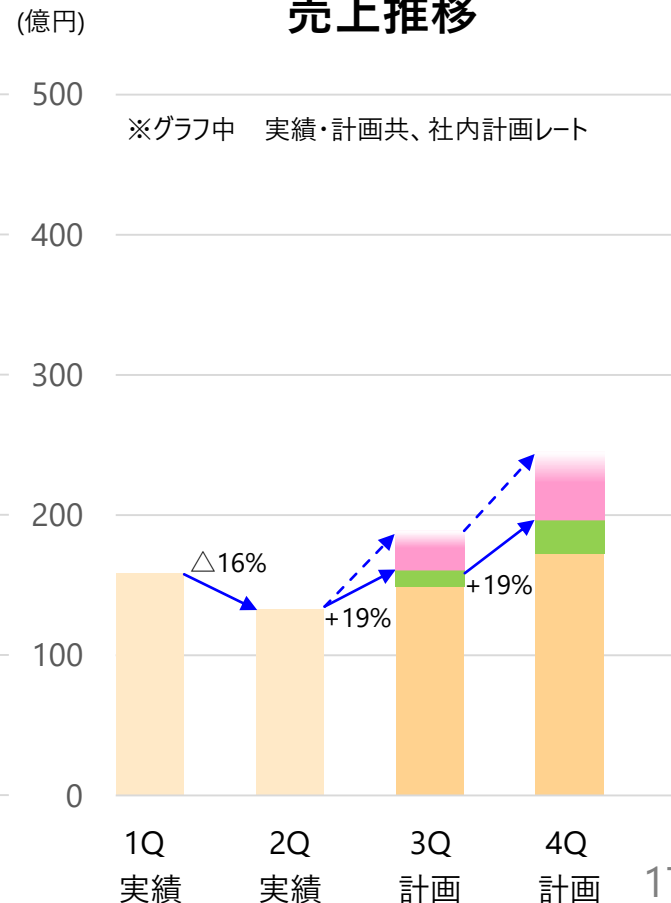
新規事業創出/
事業領域拡大
85億円

- ・「コスト構造改革による経費削減」+「既存事業の強化」+「新規事業創出・事業領域拡大」による業績回復を目指す。
- ・しかしながら新型コロナ収束は未だ不透明であり、「業績予想は未定」。

全社売上目標値(社内計画)



2020年四半期
売上推移



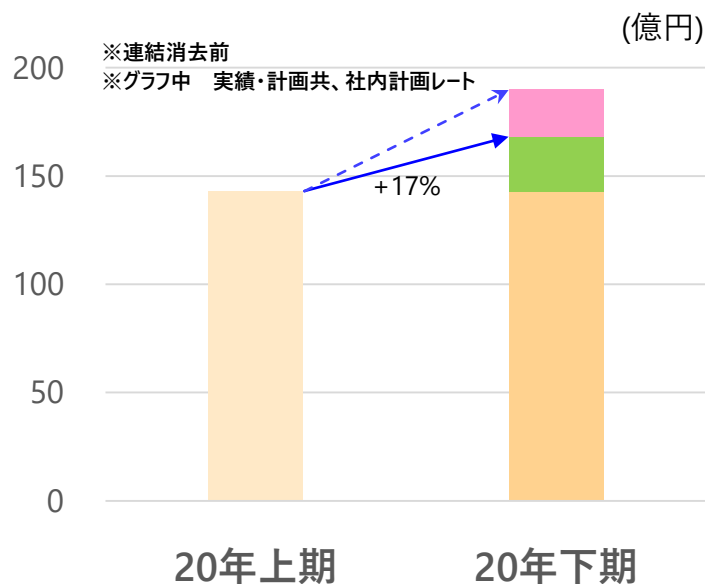
ビジョン

JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様の工場スマート化に貢献

基本方針

- ・新型コロナウイルス対策向けの新たなラインソリューションを展開
- ・ミドル顧客の開拓とハイエンドへの成長支援による将来の顧客基盤を構築

20年下期目標値



新規事業創出

マスク縫製向けの
ラインソリューション拡大



ワンストップで実現させるJUKIのスマートファクトリー

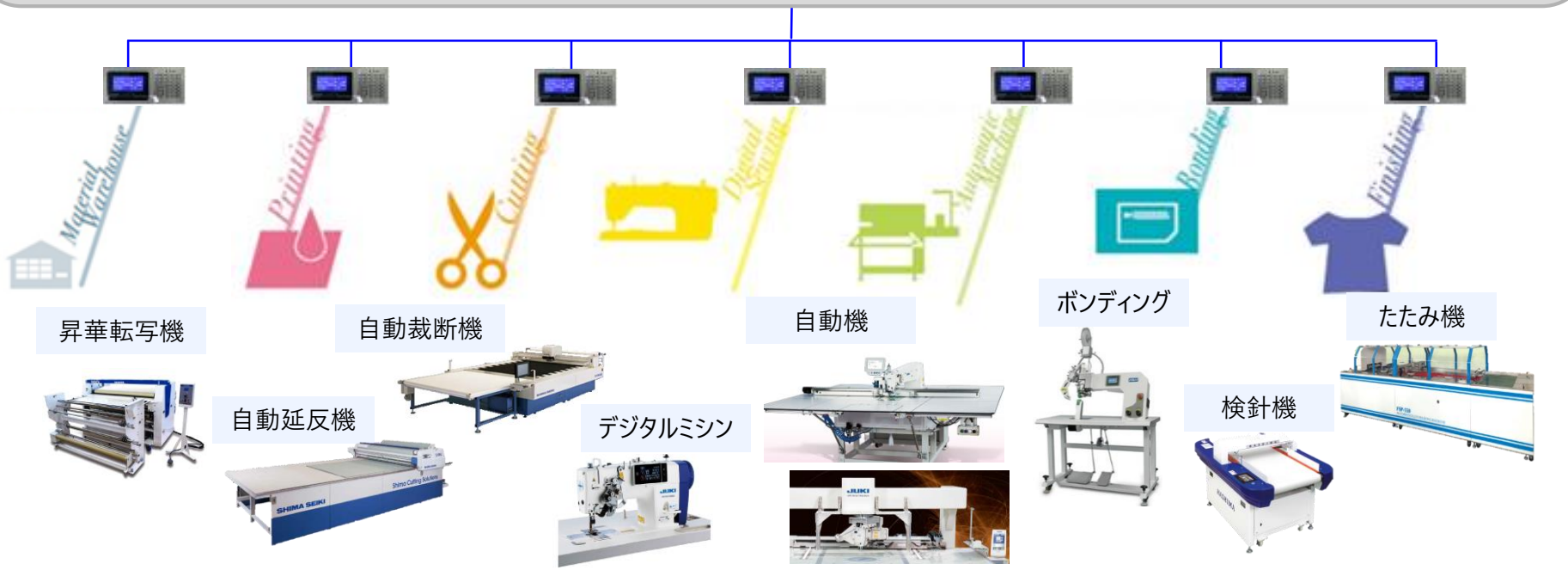
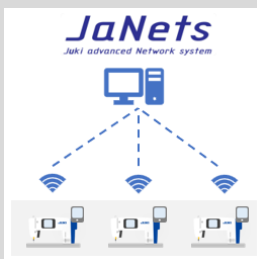
PARTS Web

JOL (技術支援システム)

設備稼働モニタリング

点検サポートアプリ

遠隔サポートシステム



拡大事業領域

既存事業領域

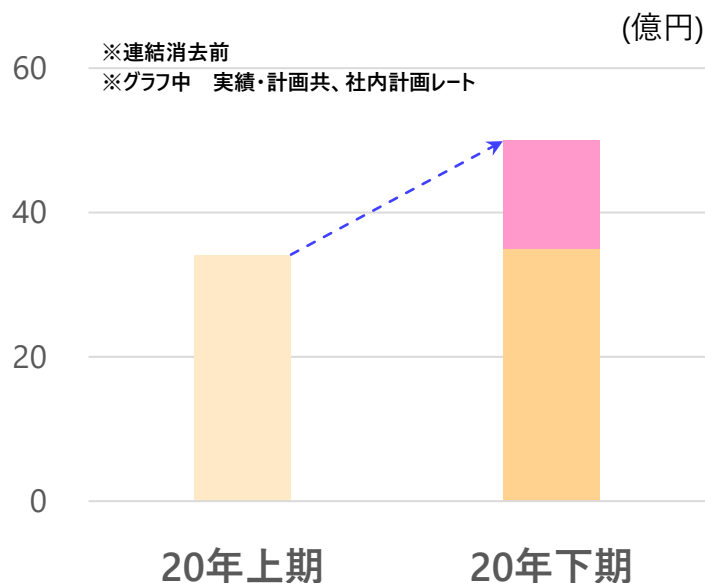
拡大事業領域

ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と新たな楽しみの創造

基本方針

強みである高級家庭用・小型ロック・職業用・キルトを中心に事業を拡大

20年下期目標値

事業領域拡大

職業用ミシン プラチナムモデルの展開による販売拡大



今秋発売予定の新モデル

市場の特性にマッチしたラインナップ強化と環境変化に対応した商品供給

《日本》
高級職業用ミシン
コンピュータミシン

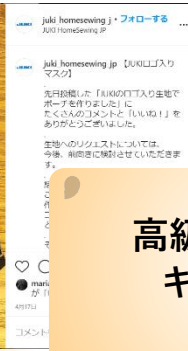


SL-700EX



HZL-100B

デジタル & オンライン
↓
ものづくりの創造



《欧州》
高級家庭用ミシン
小型ロックミシン

《米州》
高級家庭用ミシン
キルト用ミシン
刺繍機



DX-2000QVP

《Kirei》
HZL-NX7



MO-114D



《彩》
QVP
(タジマ工業製)



《みやび》
J-350QVP



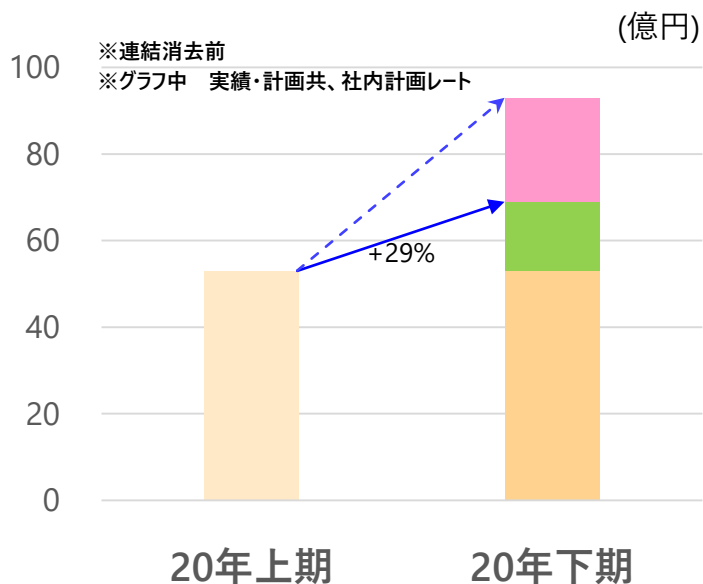
ビジョン

得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、顧客にとってなくてはならない事業パートナーへ

基本方針

非マウンタ領域でのソリューション拡大とマウンタ領域でのラインソリューション拡充により事業基盤を拡大

20年下期目標値



事業領域拡大

MI+ロボット、検査・計測、自動倉庫での領域拡大

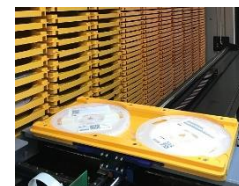
■ MI+ロボット



■ 検査・計測



■ 自動倉庫



JUKI Smart Solutions

アライアンスの深化と自動化の追求で更に事業領域を拡大



倉庫管理の自動化



後工程・組付の自動化



検査・計測の自動化

実装統合システムソフトウェア

JaNets
Juki Advanced Network system

基幹システム連携

外部規格連携

遠隔サポート

AI予知保全

生産・設備可視化

装置間連携

他社連携

ストレージ管理システム

マウンタ・検査機・後工程マウンタ

ロボットシステム

検査・計測システム



部品供給管理領域

SMT領域

手挿入領域

組立領域

検査・計測領域

拡大事業領域

既存事業領域

拡大事業領域

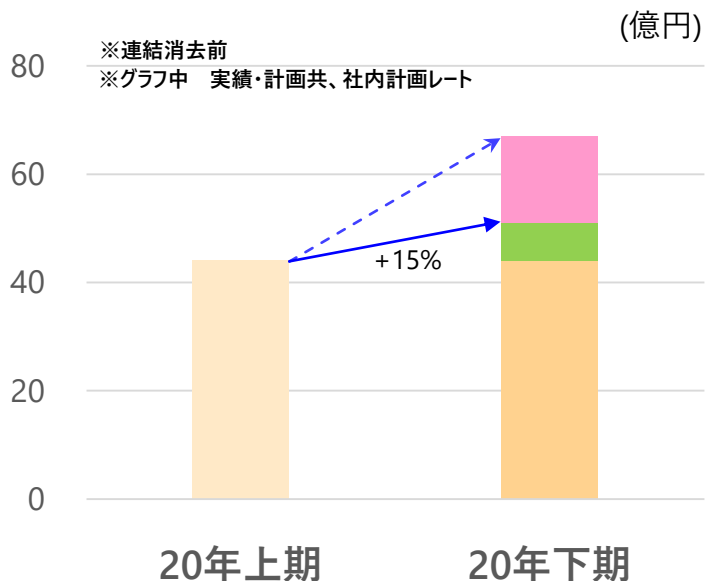
ビジョン

JUKIグループの経営資源（人材、工場設備、ネットワーク）を活かし、
JUKI第三の柱へ

基本方針

- ・企画・開発、設計、組立受託、エンジニアリング拡大による事業領域の拡大
- ・新型コロナウイルス対策関連分野の新規事業創出

20年下期目標値



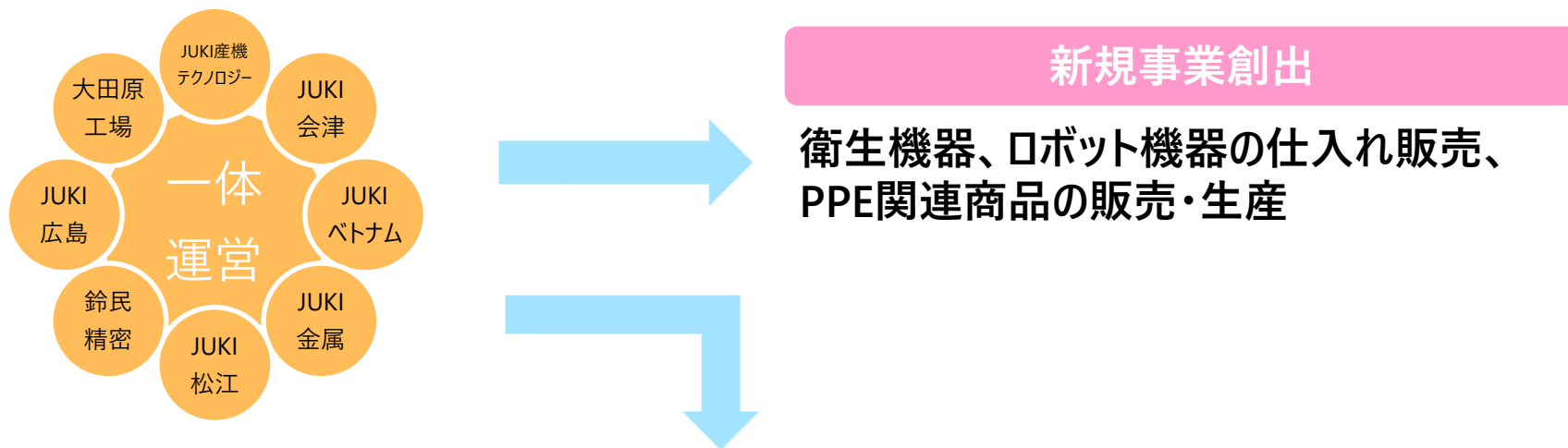
事業領域拡大

お客様工場における製造の自動化、ライン構築拡大
(エンジニアリング)

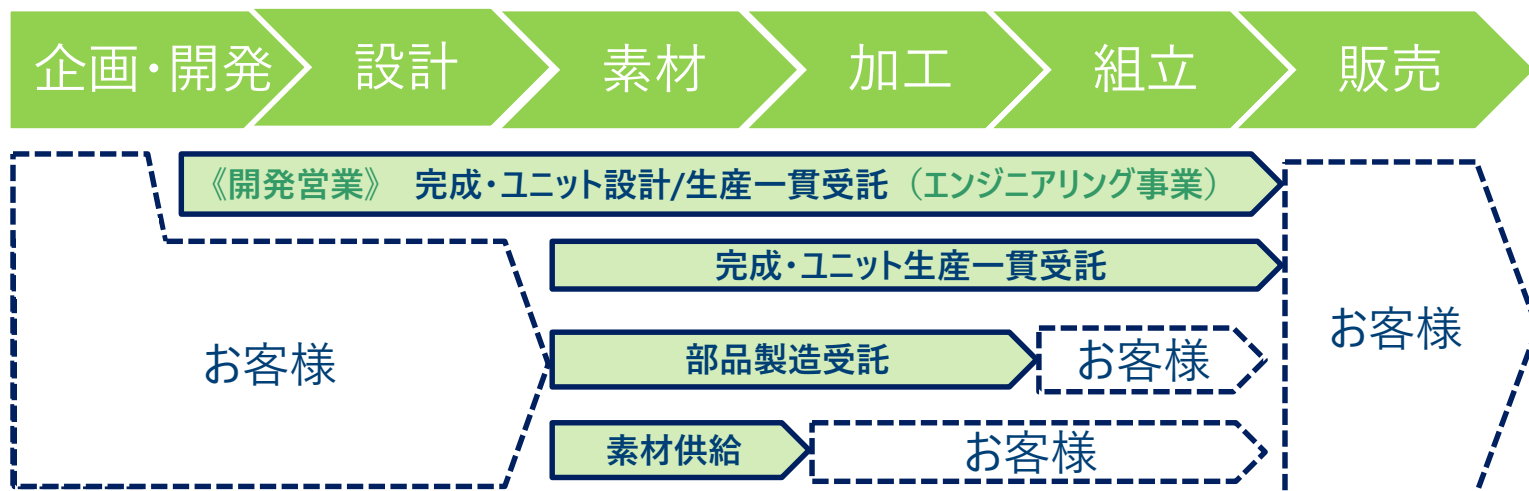


工程の見える化/工程のロボット化

- ・企画・開発、設計、組立受託、エンジニアリング拡大による事業領域の拡大
- ・新型コロナウイルス対策関連分野の新規事業創出



JUKI Contract Business Model



ビジョン

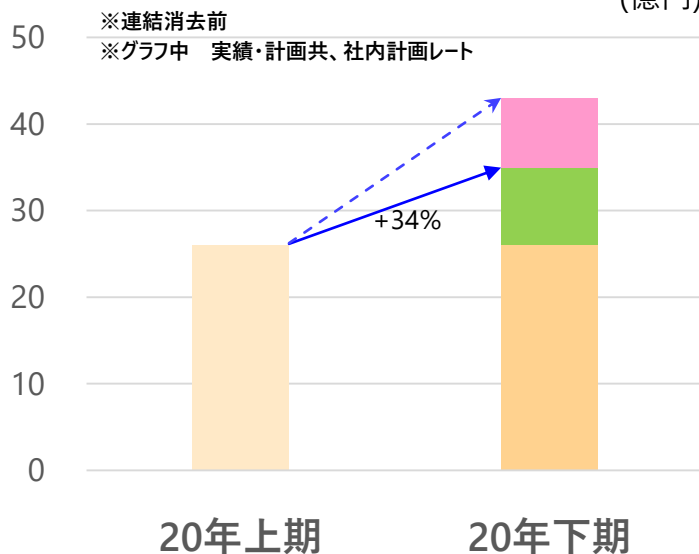
今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

基本方針

縫製、産装の垣根を越えて『モノ』売りから『コト』売りへ
～付加価値拡大にて顧客囲い込み加速～

20年下期目標値

(億円)



新規事業創出

リモートサポート分野の拡大



点検サポートアプリの展開

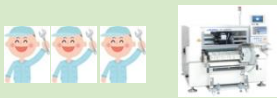


オペレータ向け
eラーニングコンテンツの提供

パーツ/サービスBiz拡大



- ・縫製: 点検サポートアプリによるパーツ拡販
- ・産装: トレードインビジネスの再構築



Withコロナ、Afterコロナ
お客様支援



・eラーニング



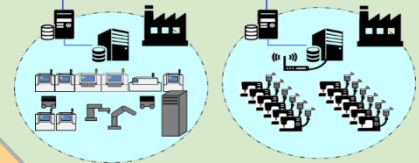
・遠隔サポート

スマートライン導入における
アフターサービス事業拡大

設備予防
保全管理



設備予兆
保全管理



Smart Solutionへの対応

在庫最適化
管理システム



パーツ供給体制
パーツセンター/販社倉庫

活動を支える後方支援

PARTS Website

JOL for Sewing

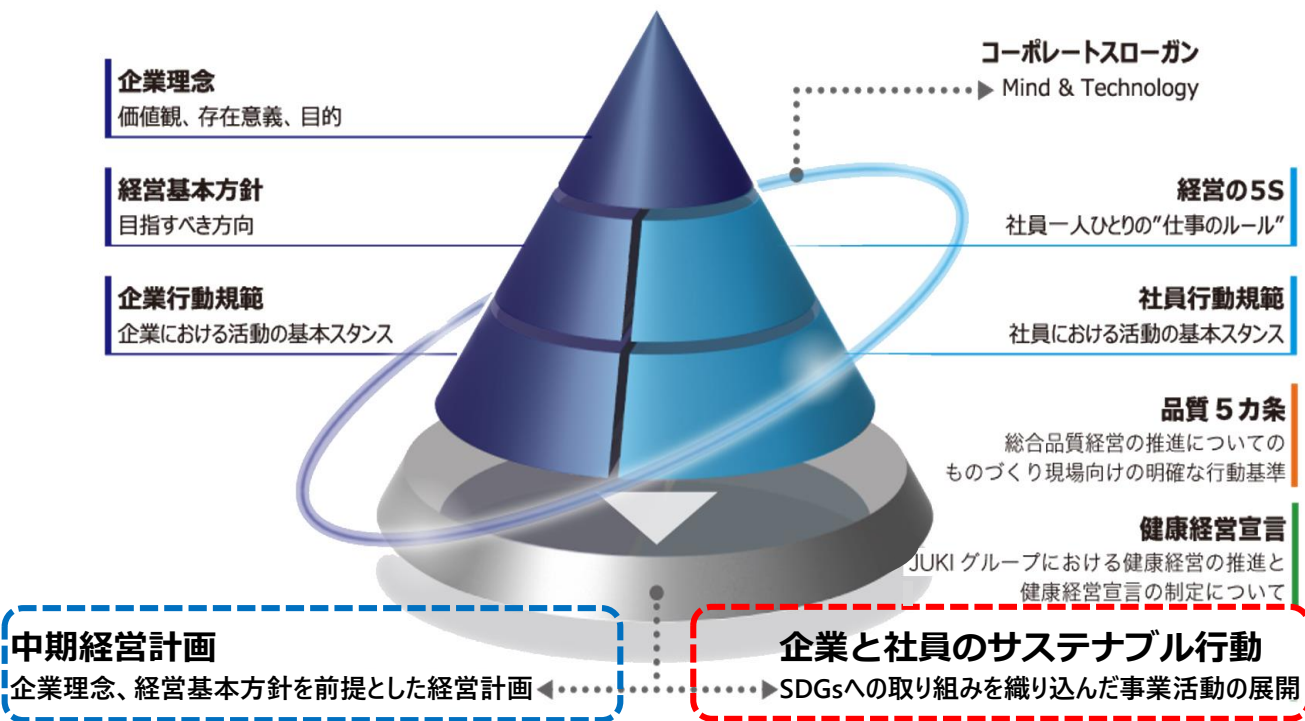
- ・パーツWebサイト
- ・JOL

情報共有、発信の為の
ネットワークシステム

協力会社とのオープンイノベーション

JUKIは、持続可能な社会実現に向けてこれまでも事業に取り組んできました。2030年SDGs目標の達成を視野に入れて、事業創出に取り組み、社会問題の解決に取り組んでいきます。

JUKI 企業理念図



JUKIは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

開発途上国の経済発展への取り組み



工業用マシン事業を通じて、開発途上国の産業創出と経済発展に努めています。2月19日にエチオピアにおいて「Ethiopia-Japan Garment & Textile Industry Development Seminar」に参加し、エチオピアでの縫製業発展への支援として「縫製業における品質・生産性向上の為の工場診断の重要性」というテーマについてプレゼンテーションを実施しました。

環境パフォーマンスの改善



国内・海外の当社生産拠点において、CO2・廃棄物・揮発性有機化合物(VOCs)などの排出削減活動を通して、環境への貢献活動を継続しています。新興重機工業有限公司では、燃焼式VOCs浄化設備を新たに導入し、中国における工業企業揮発性有機化合物排出標準量を遵守したものづくりを行っています。

地域・社会貢献での取り組み



新型コロナウイルス感染症を防止するため、JUKI工業用マシン、家庭用マシンを活用してマスクを生産、合計32,700枚を多摩市、ならびに国内7工場が所在する地方自治体へ寄贈しました。手作りマスクは、SMLの3種類で、大田原工場の社員約50名が携わり縫製しました。



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

J U K I 株式会社

お問合せ先：経営企画部 担当：鴨居田

T E L : 042-357-2294 F A X : 042-357-2399

ホームページURL : <https://www.juki.co.jp/>